

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	バイパス機能を持った幹線道路を整備することで、南北地域間における交通の円滑化を促す。	主たる内容	市道01-40号線（起点：中手町3丁目～終点：熊野町6丁目）の道路整備 延長 1,600m 幅員 12.0～15.5m						
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市都市計画マスタープラン							
		根拠法令	道路法							
	対象者	市民	事業期間	平成11年度～平成38年度						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・道路設計（工事用仮設道路） ・用地測量		・用地取得 2,497㎡ ・物件移転補償 1件 ・地質調査 ・周辺整備工事		（H28繰越分） ・用地取得 2,837㎡ （H29契約分） ・道路新設改良工事 154m ・周辺整備工事 ・工事用仮設道路工事		（H29繰越分） ・道路新設改良工事 154m ・工事用仮設道路工事 （H30契約分） ・用地取得 2,371㎡ ・橋りょう詳細設計 ・周辺整備工事 ・工事用仮設道路工事		
成果		平成29年度までに、道路用地の面積割合で全体の約92%が取得できた。関係機関と協議調整し、道路新設改良工事に着手した。								
課題		神社用地の取得について、神社庁と引き続き調整が必要。河川管理者と占用区域について、調整が必要。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（%）		80.9	81.5	91.6	100.0	100.0		
活動指標		道路整備率（%）		—	—	—	9.6	9.6		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		70,647	338,781	155,082	312,910	合計 155,081,750円			
	財源	特定財源	0	31,081	4,358	156,000	需用費 32,000円			
		一般財源	70,647	307,700	150,724	156,910	委託料 952,278円			
	職員人件費②		6,581	15,943	13,493	11,075	工事請負費 103,155,360円			
	総事業費（①+②）		77,228	354,724	168,575	323,985	公有財産購入費 50,934,397円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		繰越金						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市街地における交通渋滞が慢性化していることから、南北地区間の移動に時間を要している。また通過車両が生活道路に流入し、生活道路の交通安全の確保が危惧される状況であるため、これらの対策を講じる必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	長期的な展望から、（仮）南北縦貫道路の一部区間の整備を行い、将来的な道路網を形成するため、広く市民からの理解を得て事業を推進する。また、社会資本整備総合交付金を活用して道路整備を進める。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	バイパス機能を持つ道路整備を行うことで、交通の円滑化や市街地内の渋滞が緩和され、地域間の交流が活発になる。また市民の身近な道路の安全性が確保されることで、良好な住環境が提供できる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路整備により、既存の幹線道路の混雑緩和と生活利便性の向上が期待できる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成29年度から道路新設改良工事に着手し、今後も計画通り用地取得を進める。					

会計名			市道1-32号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	井ヶ谷町の旧集落を横断する狭あい道路の 拡幅を行うことで、沿道の防災性及び沿道住 民の利便性の向上を図る。		主たる内容	市道1-32号線（井ヶ谷町中ノ嶋）の道路整備 延長 250m 幅員 6.0m				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成14年度～平成32年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・用地取得 139㎡ ・物件移転補償 4件		（H27繰越分） ・用地取得 136㎡ ・物件移転補償 2件		・道路新設改良工事 52m		_____	
成果		用地取得できた箇所について道路整備を行い、全体の約61パーセントの整備が完了した。 平成28年度までに、道路用地の面積割合で全体の約68%が取得できた。							
課題		一部、用地確定が出来ていない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標	道路用地の面積取得率（%）		68.1	68.1	68.1	68.1	68.1		
活動指標	道路整備率（%）		40.8	40.8	60.8	60.8	60.8		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （決算）	30年度 （予算）	29年度 事業費内訳		
	事業費 ①		19,615	8,652	7,564	0	合計 7,564,200 円		
	財源	特定財源	0	8,652	0	0	工事請負費 6,804,000 円		
		一般財源	19,615	0	7,564	0	補償、補填及び賠償金 760,200 円		
	職員人件費 ②		4,466	938	2,094	0			
	総事業費（①+②）		24,081	9,590	9,658	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道1-32号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	狭隘道路の拡幅であり、市民生活、防災上も必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	東側から順次、用地購入、工事を進めていくため、事業効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にすると共に、防災上の観点からも公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	年度ごとに区間を定め、施工していくため、利便性の向上が早期に確認できる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	用地境界未確定地についての用地確定を行い、用地取得を進める。				

会計名			市道2-619号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	天王町と松坂町の幹線道路を結ぶ生活道路を新設整備して、生活基盤及び地域の住環境の向上を図る。		主たる内容	市道2-619号線（起点：天王町6丁目～終点：松坂町5丁目）の道路整備 延長 419m 幅員 6.0m					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民		事業期間	平成12年度～平成34年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・用地取得面積 380㎡ ・物件移転補償 1件		・用地取得 694㎡ ・物件移転補償 7件		(H28繰越分) ・用地取得 226㎡ ・物件移転補償 1件 (H29契約分) ・道路新設改良工事 218m		(H29繰越分) ・道路新設改良工事 218m (H30契約分) ・道路新設改良工事 138m		
成果		平成29年度までに道路用地の面積割合で全体の約73%を取得できた。								
課題		事業に対する理解が得られず、用地交渉が難航している								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標	道路用地の面積取得率（%）		17.7	60.4	73.1	73.1	73.1			
活動指標	道路整備率（%）		—	—	0.0	85.0	85.0			
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		5,673	61,747	27,781	18,000	合計 27,780,892 円			
	財源	特定財源	0	24,668	1,289	0	需用費 10,000 円			
		一般財源	5,673	37,079	26,492	18,000	委託料 119,523 円			
	職員人件費 ②		2,742	12,035	3,800	2,106	工事請負費 11,000,000 円			
	総事業費（①+②）		8,415	73,782	31,581	20,106	公有財産購入費 16,228,440 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		繰越金						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道2-619号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地元要望に伴い、幹線道路と生活道路を結ぶ道路を新設する事業であるため必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	計画的に事業用地の確保を行っており、効果の確認ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域住民の利便性の向上を図る、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	生活道路を新設整備することにより、緊急車両の通行を可能にする等、地域住民の利便性が確保される。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成29年度から道路新設改良工事に着手し、引き続き道路用地の取得を進める。					

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	工業用地の基盤となる道路整備を行うことで、企業立地の促進を図る。			主たる内容	市道3-347号線（野田町新田）の道路整備 延長 620m 幅員 9.0m				
	位置づけ	第3次刈谷市都市計画マスタープラン、企業立地推進ビジョン								
	根拠法令	道路法								
	対象者	市民		事業期間	平成28年度～平成32年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
				・道路予備設計		・道路新設改良工事 110m ・道路詳細設計		・用地取得 922㎡ ・用地測量		
成果		道路整備に一部着手をした。								
課題		用地取得に関係者との調整が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			—	—	—	58.3	100.0	
活動指標		道路整備率（％）			—	—	17.7	17.7	58.9	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		0	2,106	78,035	36,991	合計	78,035,400円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	8,856,000円		
		一般財源	0	2,106	78,035	36,991	工事請負費	69,179,400円		
	職員人件費②		0	938	3,645	4,758				
	総事業費（①+②）		0	3,044	81,680	41,749				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	29年度特定財源名称					
		29年度までの累積事業費		0						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路を整備することにより、工場立地に必要な基盤をつくることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	工場立地可能な必要最小限の整備区間にしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	工場立地を円滑に誘導するには、市が主体となって整備する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路整備により工場立地が可能となり、工場用地が確保できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
地権者交渉を進め、用地取得を進める。					

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	スマートIC整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	既存の幹線道路を拡幅及び延伸をすることで、南北地域間を結ぶ交通の円滑化、交通渋滞の緩和及び児童を始めとする歩行者の安全性の確保を図る。	主たる内容	市道01-4号線（起点：井ヶ谷町池之浦～終点：今川町交差点）の道路整備 延長 3,200m 幅員 13.5～15.0m （両側歩道 幅員 2.5～3.5m）						
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市都市計画マスタープラン							
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成11年度～平成34年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・道路新設改良工事 180m ・橋りょう予備設計 ・道路詳細設計		・道路新設改良工事 105m		・道路新設改良工事 103m ・交差点詳細設計 ・道路詳細設計 ・橋りょう詳細設計		（H29繰越分） ・用地取得 5,460㎡ （H30契約分） ・道路新設改良工事 170m ・交差点改良工事 1箇所 ・用地取得 10,180㎡		
成果		道路新設改良工事を実施し、道路整備率の進捗を図ることができた。								
課題		道路管理者や河川管理者との継続的な協議を実施し、計画的な事業進捗を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（％）		87.3	90.3	58.0	90.8	100.0		
活動指標		道路整備率（％）		87.3	88.7	61.0	66.3	83.8		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		73,196	31,315	103,257	743,034	合計	103,256,678円		
	財源	特定財源	9,000	3,900	0	495,600	需用費	6,400円		
		一般財源	64,196	27,415	103,257	247,434	委託料	57,834,118円		
	職員人件費②		6,973	2,892	14,268	17,315	工事請負費	45,416,160円		
	総事業費（①+②）		80,169	34,207	117,525	760,349				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	スマートIC整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	当該路線は国道1号線と連絡する重要な路線であり、交通量が多い上に大型車の混入率が高い。また一部区間は通学路として利用されている。しかし、車線幅員や歩道幅員が狭く、交差点で慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化と安全性の向上を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	社会資本整備総合交付金を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡幅整備や交差点改良を行うことで、交通安全や生活利便性の向上を図るとともに企業の産業活動を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路の整備は、県道岡崎豊明線との交差点改良、及びバイパス区間は道路の拡幅が完了しており、交差点の渋滞緩和と旧道沿線地区の良好な住環境の形成（騒音や交通安全確保）に一定の効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
計画区間の道路整備を継続するとともに、今川町交差点の改良を行い、北側延伸区間については用地買収及び道路工事を進める。					

会計名			市道2-643号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	市役所と主要地方道知立東浦線を結ぶ歩車分離した道路を整備することで、市役所利用者の利便性向上と、東陽町商店街の活性化を図る。	主たる内容	市道2-643号線（東陽町3丁目）の道路整備 延長 125m 幅員 8.5m						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
	対象者	市民		事業期間	平成26年度～平成33年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・用地取得 201㎡ ・物件移転補償 3件 ・道路詳細設計		（H27繰越分） ・用地取得 201㎡ ・物件移転補償 3件 （H28契約分） ・用地取得 195㎡ ・物件移転補償 1件		・道路新設改良工事 75m		_____		
成果		道路整備工事に着手した。 平成28年度までに道路用地の面積割合で全体の約58%を取得することができた。								
課題		用地取得に難航している。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（%）		30.6	58.4	58.4	58.4	58.4		
活動指標		道路整備率（%）		—	—	66.4	66.4	66.4		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		40,753	65,652	12,247	0	合計	12,247,200円		
	財源	特定財源	0	16,587	5,000	0	工事請負費	12,247,200円		
		一般財源	40,753	49,065	7,247	0				
	職員人件費②		3,682	6,174	2,869	0				
	総事業費（①+②）		44,435	71,826	15,116	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0		市町村土木費補助金（県）				
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道2-643号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	歩道付きの道路を整備することで市役所利用者の利便性の向上と、地域住民の交通安全の確保が図られる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	東陽町名店街ビル周辺の土地利用の変化にあわせて事業を行い、用地取得費及び物件補償費の縮減を図った。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性が高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	市役所利用者及び地域住民の利便性が向上すると共に、安全で円滑な交通が確保できる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	用地取得を進め、早期に工事完了を目指す。				

会計名 一般会計			市道02-5号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	3					担当係	事業推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	愛知県が施工する都市計画道路豊田刈谷線（県道宮上知立線）の整備により設置される交差点に接続する市道の整備を行うことで、県道により分断される地区の利便性及び安全性を確保する。	主たる内容	市道02-5号線他（起点：一里山町伐払～終点：一里山町南本山）の道路整備 延長 1,400m 幅員 6.0～10.0m						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成26年度～平成36年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
						・用地測量 ・道路予備設計		・用地取得 655㎡		
成果		用地買収に必要な用地の確定ができた。								
課題		関係機関協議を進める必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			—	—	—	13.3	29.5	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	28,859	23,063	合計	28,858,644 円		
	財源	特定財源	0	0	0	6,230	委託料	28,858,644 円		
		一般財源	0	0	28,859	16,833				
	職員人件費 ②		0	0	2,481	3,198				
	総事業費（①+②）		0	0	31,340	26,261				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	県道宮上知立線により分断される地区の利便性及び安全を確保に必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、道路整備事を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	県道宮上知立線により分断される地区の往来が可能となる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	県道の進捗状況に合わせて事業進捗を図る必要がある。				

会計名			市道3-363号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	愛知県が施工する県道小垣江安城線整備事業により分断される地区の利便性及び安全性を確保する。		主たる内容	市道3-363号線(現3-928) (小垣江町東高根)の道路整備 延長 270m 幅員 7.7~9.6m					
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成29年度 ~ 平成35年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		_____		_____		・道路新設改良工事 12m ・舗装工事 350m ² ・用地取得 14m ²		・用地取得 169m ² ・物件移転補償 1件		
成果		付替え道路整備に必要な用地取得を行うとともに、小垣江安城線整備中に必要な迂回路の整備をすることができた。								
課題		用地取得が難航している。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標	道路用地の面積取得率（%）		—	—	0.3	4.4	100			
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	12,101	0	合計 12,100,625 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 400 円			
		一般財源	0	0	12,101	0	委託料 288,553 円			
	職員人件費 ②		0	0	4,420	2,886	工事請負費 11,423,160 円			
	総事業費（①+②）		0	0	16,521	2,886	公有財産購入費 388,512 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道3-363号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	県道小垣江安城線整備により分断される地区の利便性及び安全性が確保するため必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、工事を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路整備により、県道整備により分断された地区の往来が可能となる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
県道小垣江安城線の進捗状況のあわせて、用地取得、道路整備を進めていく。					

会計名			市道01-41号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	スマートIC整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	スマートインターチェンジの整備に合わせた道路整備を行うことで、産業の生産性向上、交通渋滞の緩和、周辺地域の活性化、観光振興及び防災機能の強化を図る。	主たる内容	市道01-41号線（起点：東境町石神～終点：東境町松ケ枝）の道路整備 延長 1,900m 幅員 5.5～30.0m						
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市都市計画マスタープラン							
		根拠法令	道路法、道路橋示方書							
		対象者	市民	事業期間	平成29年度～平成33年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		—		—		・道路詳細設計		（H29繰越分） ・道路詳細設計 （H30契約分） ・道路新設改良工事 200m ・駐車場改良工事 2箇所 ・ため池改修工事 1箇所 ・用地取得 3,483㎡ ・用地測量		
成果		国土交通大臣よりスマートICの連結許可を得ることで、事業実現に向けて大きく前進した。								
課題		スマートICの早期開通に向けて、関係者協議を迅速かつ適切に実施するとともに、工事を確実に進捗させる必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		道路整備率（％）				—	—	10.5	75.3	
活動指標		協議会等の開催回数（回）				—	2	2	2	
他市との比較検証		県内でのスマートIC箇所（実施中含む） ・豊田市（鞍ヶ池、上郷） 名古屋市（守山）								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	3,024	487,286	合計	3,024,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	341,600	報償費	54,000円		
		一般財源	0	0	3,024	145,686	委託料	2,970,000円		
	職員人件費②		0	0	7,367	16,145				
	総事業費（①+②）		0	0	10,391	503,431				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		1,570,000		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		1,082,714								

会計名			市道01-41号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	スマートIC整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	本地域周辺は、日本の経済を牽引する自動車関連産業の大規模工場の集積地であり、この地域を通る幹線道路では、交通集中による慢性的な渋滞が発生し、物流交通や市民の生活活動を阻害しているため、スマートICを整備することで、道路環境を改善する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	ICアクセス道路の整備に対する国の補助事業を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	現在供用している市道や公園内の通路を改良し、スマートICのアクセス道路を整備することで、事業の早期実現を目指し、地域間交通流動の円滑化や交通渋滞の緩和を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	高速ネットワークへの到達圏域が拡大することにより周辺地域が活性化され、産業生産性の向上、大型車減少による生活環境の向上、救援物資輸送や地域防災性が向上する効果がある。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
スマートICの平成33年度工事完了を実現するため、関係機関や地元との協議を適切に実施し、計画的に工事を進める。					

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	伝統的な祭りである万燈祭等、歴史・文化に配慮し、既存道路の拡幅による歩車分離・電線類の地中化を行うことで、歩行者・自動車等、道路交通の安全性の確保、生活基盤及び地域の住環境の向上を図る。				主たる内容	市道2-496号線（起点：銀座4丁目～終点：新栄町7丁目）の道路整備 延長 360m 幅員 17.5m～11.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員 4.0m 電線類地中化		
	位置づけ	関連計画	中心市街地活性化基本計画、無電柱化推進計画						
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成15年度～平成33年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		(H26繰越分) ・用地取得 70㎡ ・物件移転補償 6件		(H27繰越分) ・用地取得 228㎡ ・物件移転補償 6件		・用地取得 85㎡ ・道路新設改良工事 118m		(H29繰越分) ・道路新設改良工事 118m (H30契約分) ・道路新設改良工事 112m	
(H27契約分) ・用地取得 228㎡ ・物件移転補償 6件 ・道路新設改良 160m		(H28契約分) ・用地取得 219㎡ ・物件移転補償 7件 ・道路新設改良工事 115m							
成果		平成29年度までに道路用地の面積割合で全体の約94%を取得できた。							
課題		事業に対する理解が得られず、用地交渉が難航している。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（%）			84.3	91.4	94.4	94.4	94.4
活動指標		道路整備率（%）			40.3	56.7	56.7	88.6	88.6
他市との比較検証		_____							
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		216,707	256,475	63,594	126,137	合計 63,594,127円		
	財源	特定財源	25,608	64,871	53,412	24,028	需用費 15,000円		
		一般財源	191,099	191,604	10,182	102,109	委託料 7,944,717円		
	職員人件費②		12,457	12,817	6,514	3,276	工事請負費 47,088,000円		
	総事業費（①+②）		229,164	269,292	70,108	129,413	公有財産購入費 7,546,665円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金(国)					
31年度以降の事業費見込		0		市道2-496号線他道路新設改良事業債 繰越金					

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路を拡幅し、歩道設置、電線類の地中化を行うことにより、交通安全の確保、市民生活の利便性が向上する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	道路整備に合わせて、電線類の地中化を図るため、効率的に事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることで、中心市街地の活性化・地域生活基盤の向上が図られる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も計画通りに用地取得、道路整備を進めていく。					

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・551刈谷環状線電				担当部	建設部	
款 項 目 8 4 3		線類地中化事業				担当課	道路建設課	
						担当係	道路整備係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境					
		基本施策	道路・交通					
		施策の内容	歩道・自転車道の整備					
	目的	歩道内の電柱及び電線を地中に埋設することで、安全で快適な歩行空間を確保し、市民が安心して歩けるまちづくりを進める。			主たる内容	都市計画道路刈谷環状線（起点：高松町1丁目～終点：住吉町3丁目）の道路整備 延長 474m 幅員 15.0m 電線類地中化 バリアフリー化		
	位置づけ	関連計画 都市計画マスタープラン、無電柱推進計画 根拠法令 道路法、道路構造令、電線共同溝整備等に関する特別措置法						
	対象者	市民		事業期間	平成25年度～平成35年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画
		・電線類地中化詳細設計 474m		・電線類地中化工事 127m		(H28繰越分) ・電線類地中化工事 127m (H29契約分) ・電線類地中化工事 147m		(H29繰越分) ・電線類地中化工事 147m
		成果	各電線管理者等と協議し、道路整備（電線類地中化及びバリアフリー化）工事を行い、道路整備率の進捗を図ることができた。					
課題								
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
活動指標	道路整備率（％）			—	0.0	12.8	27.5	66.4
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		8,964	17,101	101,759	87,867	合計 101,759,449 円	
	財源	特定財源	0	1,298	79,797	43,000	委託料 7,342,920 円	
		一般財源	8,964	15,803	21,962	44,867	工事請負費 75,764,160 円	
	職員人件費②		2,115	4,455	5,351	2,496	補償、補填及び賠償金 18,652,369 円	
	総事業費（①+②）		11,079	21,556	107,110	90,363		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称		
29年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金（国）				
31年度以降の事業費見込		0		繰越金				

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 線類地中化事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化を実施することでコストの縮減を行い、効率的な事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後も計画的に、道路新設改良工事（電線類地中化工事含む）を進めていく。						

会計名 一般会計		都市計画道路7・4・555刈谷駅前線道				担当部	建設部			
款	項	目	路新設改良事業			担当課	道路建設課			
8	4	3				担当係	道路整備係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	歩道・自転車道の整備							
	目的	刈谷駅北口周辺における自動車交通の円滑化及び安全性の向上を図るとともに、安心安全な歩行空間の確保と、まちづくりと一体となった新たなにぎわい空間を創出し、刈谷駅北口のシンボルロードづくりを進める。	主たる内容	都市計画道路刈谷駅前線（起点：相生町2丁目～終点：桜町1丁目）の道路整備 延長 250m 幅員 18.0m 車道幅員 5.0m（一車線、一方通行） 歩道幅員 3.5m～9.5m 電線類地中化 バリアフリー化 交差点改良 2箇所						
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、無電柱化推進計画							
		根拠法令	道路法、電線共同溝の整備等に関する特別措置法							
		対象者	市民	事業期間	平成27年度～平成31年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化予備設計 交差点詳細設計 		（H27繰越分） <ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化予備設計 交差点詳細設計 （H28契約分） <ul style="list-style-type: none"> 道路詳細設計 電線類地中化詳細設計 連絡通路延伸詳細設計 交差点改良工事 		<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化工事 157m ※都市計画道路3・4・569刈谷駅前線道路新設改良事業から名称変更 		<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化工事 319m 連絡通路延伸工事 1式 		
成果		各電線管理者等と協議を行い、平成29年度から電線類地中化工事に着手できた。								
課題		駅前で供用されている道路のため、仮設道路期間を減らし、工事の早期完成を目指さなくてはならない。地域住民、商店街組合、行政が協働して周辺のまちづくりと一体となった新たなにぎわい空間の活用を行っていく必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標	電線類地中化率（％）				—	—	32.7	100.0	100.0	
活動指標	道路整備率（％）				—	—	—	—	100	
	他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		4,698	84,835	60,181	347,547	合計	60,181,411 円		
	財源	特定財源	0	10,962	26,782	279,831	委託料	524,350 円		
		一般財源	4,698	73,873	33,399	67,716	工事請負費	56,247,480 円		
	職員人件費 ②		3,682	3,282	4,032	5,616	補償、補填及び賠償金	3,409,581 円		
	総事業費（①+②）		8,380	88,117	64,213	353,163				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金（国）						
31年度以降の事業費見込		0		電線共同溝建設負担金						

会計名 一般会計			都市計画道路7・4・555刈谷駅前線道 路新設改良事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	交通拠点となる刈谷駅にふさわしい、賑わい空間を創出し、活性化を図る必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	地元住民、商店街組合、地元企業などが参画するワークショップと連携し、道路線形やデザインを決定した。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷駅北口のシンボルロード作りにあたり、地元ワークショップで聴取した意見を参考に事業を進めていくのは、行政として必要な役割である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	地元ワークショップと連携し、事業の推進を行うことにより、地域住民等と一体となったまちづくりが実施できている。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
刈谷駅北地区再開発事業との工程調整しながら、事業を進める。						

会計名			歩道整備事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	既存の歩道を見直し、段差等を解消することで、誰もが歩きやすい安心安全な歩道空間を形成する。			主たる内容	市内全域の歩道について調査・点検を行い、整備計画を策定し、順次整備工事を実施する。 ○計画策定対象歩道延長 146km			
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン						
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成28年度～平成38年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
				・計画策定業務委託 1式		・歩道詳細設計 1式 ・歩道整備工事 26m		・歩道整備工事 358m	
成果		歩道整備計画に基づき、優先順位の高い路線の詳細設計を実施した。							
課題		各路線の整備内容や沿道施設、歩道の特性などを評価し、計画的に歩道整備を実施する必要がある。							
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
	活動指標	歩道整備率（％）			—	—	0.1	1.6	5.1
	活動指標								
	他市との比較検証								
C 事業コスト V	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	6,156	9,623	22,000	合計	9,622,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	7,452,000 円	
		一般財源	0	6,156	9,623	22,000	工事請負費	2,170,800 円	
	職員人件費 ②		0	0	2,869	3,666			
	総事業費（①+②）		0	6,156	12,492	25,666			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			歩道整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	歩道を整備することにより、歩行者の安全を確保する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	順次、歩道整備を進めていくことにより、事業の効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良工事であり、道路管理者が行なうべき公共性の高い工事である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	歩道を整備することにより、歩行者が安全に通行できるようになる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
整備計画を基に計画的に事業を進めていく。					

会計名			駐輪場整備事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備係		
8	4	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	駐車場・駐輪場の整備							
	目的	自転車利用者の利便性の向上と違法駐輪の防止により、交通の安全と環境美化を図る。		主たる内容	駐輪需要の増加に伴い、駐輪場の計画的整備を行う。					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、刈谷駅周辺駐輪場整備基本計画							
			根拠法令	建築基準法、刈谷市自転車等の放置防止に関する条例						
		対象者	市民	事業期間	平成6年度 ~ 平成29年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・刈谷駅南口第4駐輪場整備		・富士松駅南口第2駐輪場整備 ・野田新町駅南口駐輪場整備 ・用地取得 275㎡		・用地取得 100㎡		・富士松駅南口第2駐輪場周辺歩道整備 24m ※市道1-474号線道路新設改良事業にて実施		
成果		富士松駅における歩行者通路のための用地取得を行い、工事実施に向けて進捗した。								
課題		駅から駐輪場までの安全な歩行者動線の確保のため、歩道を整備する必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標	駐輪場整備箇所（箇所）				1	2	—	—	—	
成果指標	自転車収容台数累計（台）				8,329	9,132	9,132	9,132	9,132	
	他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		57,441	87,966	51,703	0	合計 51,702,858 円			
	財源	特定財源	0	8,000	51,703	0	需用費 5,000 円			
		一般財源	57,441	79,966	0	0	公有財産購入費 9,185,120 円 補償、補填及び賠償金 42,512,738 円			
	職員人件費 ②		2,899	1,719	3,257	0				
	総事業費（①+②）		60,340	89,685	54,960	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		繰越金						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			駐輪場整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	4	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	駐輪場利用者の利便性向上、及び違法駐輪の削減のために必要な事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	計画的に事業用地の確保、駐輪場の設置を行っており、効果の確認ができる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	駐輪場利用者の利便性向上を図るとともに、違法駐輪をなくす事により、安全で快適な歩行空間を確保するなど、公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	駐輪場の新設・増設により、駐輪場が利用しやすくなるとともに、違法駐輪の減少と環境美化に繋がる。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計			橋りょう補強事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	4					担当係	道路整備係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	○橋りょうの耐震化 対象橋りょう数 29橋		
		基本施策	防災						
		施策の内容	災害に強いまちづくり						
	目的	避難道路に架かる橋りょうの耐震化を促進し、地震発生後の道路機能を確保することで、避難する市民の安全性を高める。							
	位置づけ	関連計画	地域防災計画、地震対策アクションプラン						
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成24年度～平成32年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・橋りょう耐震補強実施設計 6橋 ・橋りょう耐震補強工事 1橋		・橋りょう耐震補強実施設計 6橋 ・橋りょう耐震補強工事 7橋		(H28繰越分) ・橋りょう耐震補強工事 2橋 (H29契約分) ・橋りょう耐震補強実施設計 6橋 ・橋りょう耐震補強工事 6橋		・橋りょう耐震補強工事 3橋	
成果		耐震補強実施設計を行うとともに、計画的に補強工事を行うことができた。							
課題		橋りょう耐震化計画にもとづき、橋りょう補強について関係機関との調整が必要。							
指標名称（単位）					実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
活動指標	避難道路内の橋りょうの耐震化率（％）				3.4	24.1	48.3	58.6	78.4
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		13,554	57,526	99,536	40,000	合計	99,536,160 円	
	財源	特定財源	0	6,218	84,442	0	委託料	14,817,720 円	
		一般財源	13,554	51,308	15,094	40,000	工事請負費	84,718,440 円	
	職員人件費 ②		3,447	4,220	3,412	2,028			
	総事業費（①+②）		17,001	61,746	102,948	42,028			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費			0	橋りょう補強事業債繰越金					
31年度以降の事業費見込			0						

会計名			橋りょう補強事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	発災後、地域住民が避難所まで安全に移動できるよう、避難道路内にある市が管理する橋りょうの耐震化を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	橋りょうの耐震化計画と長寿命化計画を調整することでコストの縮減を図り、効率的に事業を進めることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市地域防災計画で、市の責務として「被災者等が迅速かつ安全に避難できるよう、通行確保に努める」としている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	災害に強いまちづくりを行うためには、避難道路に架かる橋りょうの耐震化が必要である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
関係課と調整しながら、耐震補強工事を順次実施し、避難道路の機能確保に努める。					

会計名			道路用地等管理事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	取得済み道路用地等の草刈り、碎石敷均し等の維持管理を行い、安全を確保する。	主たる内容	事業着手するまでの期間、取得した道路用地の定期的な草刈を行う。また、必要に応じ安全面を考慮して碎石の敷均しを行う。						
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者		事業期間	~					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し、舗装補修）		・道路事業用地管理（除草、舗装補修）		・道路事業用地管理（除草、舗装補修）		・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し）		
成果		道路用地として取得した土地の維持管理が適切に行われている。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,438	18,973	2,846	12,814	合計	2,845,800 円		
	財源	特定財源	0	0	185	2	委託料	2,053,080 円		
		一般財源	2,438	18,973	2,661	12,812	工事請負費	792,720 円		
	職員人件費 ②		1,332	1,329	2,094	2,028				
	総事業費（①+②）		3,770	20,302	4,940	14,842				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料				
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	一方通行である生活道路を拡幅するとともに、歩車分離により車両と歩行者が安心して通行できる道路環境を確保する。		主たる内容	市道2-485号線（起点：銀座5丁目～終点：銀座4丁目）の道路整備 延長 L=220m 道路幅員 W=12.0m 車道幅員 W= 7.0m 歩道幅員 W= 2.5m				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成13年度～平成33年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・物件調査業務委託 1件		・用地取得 105㎡ ・物件移転補償 6件		（H28繰越分） ・用地取得 95㎡ ・物件移転補償 4件 （H29現年分） ・用地取得 342㎡		道路整備工事 40m 電線共同溝詳細設計 1式	
成果		用地取得が完了した。							
課題		電線共同溝整備について電線事業者との調整が必要。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			69.5	86.9	100	—	—
活動指標		道路整備率（％）			—	—	—	4.9	63.6
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,482	71,639	30,094	0	合計 30,094,168 円		
	財源	特定財源	0	2,274	30,094	0	委託料 367,642 円		
		一般財源	4,482	69,365	0	0	公有財産購入費 3,896,670 円 補償、補填及び賠償金 25,829,856 円		
	職員人件費 ②		2,899	3,439	1,706	1,248			
	総事業費（①+②）		7,381	75,078	31,800	1,248			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		繰越金					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道02-31号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	企業立地の推進を図るため、依佐美地区工業用地の造成に伴い必要となる周辺道路の新設・改良を行う。	主たる内容	市道02-31号線（起点：半城土町大組～終点：小垣江町北高根）の道路整備 延長 L=680m 幅員 W=10～16m 交差点改良（庚申塚・半城土大組） N=2箇所					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン						
		根拠法令	道路法						
	対象者	市民	事業期間	平成29年度～平成38年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		—		(H29契約) ・交差点改良詳細設計 ・用地測量		・道路概略設計 (H29繰越) ・交差点改良詳細設計 ・用地測量	
成果		平成29年度から交差点改良詳細設計に着手できた。							
課題		企業庁と協議調整し、計画的な事業進捗を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			—	—	—	—	85.7
活動指標		道路整備率（％）			—	—	—	—	23.2
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	2,678	2,183	合計	2,678,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	2,183	委託料	2,678,000円	
		一般財源	0	0	2,678	0			
	職員人件費②		0	0	775	4,446			
	総事業費（①+②）		0	0	3,453	6,629			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費			0						
31年度以降の事業費見込			0						